

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成26年8月21日(2014.8.21)

【公開番号】特開2013-34643(P2013-34643A)

【公開日】平成25年2月21日(2013.2.21)

【年通号数】公開・登録公報2013-009

【出願番号】特願2011-172802(P2011-172802)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 1 C

A 6 3 F 7/02 3 5 2 F

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 5 0 Z

【手続補正書】

【提出日】平成26年7月8日(2014.7.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技媒体の取り出しが制限される封入式遊技機と、前記封入式遊技機に併設され記録媒体の処理を行う各台装置とを通信可能に接続した遊技システムであって、

前記封入式遊技機は、

自機の遊技に供することができる遊技媒体の数を特定する遊技媒体数特定情報を記憶する遊技媒体数特定情報記憶手段と、

所定の記録媒体返却操作を受け付けた場合に、前記遊技媒体数特定情報記憶手段に記憶した遊技媒体数特定情報を前記各台装置に対して通知する遊技媒体数特定情報通知手段とを備え、

前記各台装置は、

前記封入式遊技機から遊技媒体数特定情報を受信した場合に、該遊技媒体数特定情報の整合性を判定する整合性判定手段を備えた

ことを特徴とする遊技システム。

【請求項 2】

遊技媒体の取り出しが制限される封入式遊技機と、前記封入式遊技機に併設され記録媒体の処理を行う各台装置とを通信可能に接続した遊技システムであって、

前記封入式遊技機は、

自機の遊技に供することができる遊技媒体の数を特定する遊技媒体数特定情報を記憶する遊技媒体数特定情報記憶手段と、

前記遊技媒体数特定情報記憶手段に記憶した遊技媒体数特定情報を所定の時間間隔で前記各台装置に定期的に通知する定期通知手段とを備え、

前記各台装置は、

前記封入式遊技機から通知された遊技媒体数情報を記憶する遊技媒体数記憶手段と、

前記定期通知手段による遊技媒体数情報の通知を受け付けた場合に、通知を受けた遊技媒体数情報から特定される情報と、既に前記遊技媒体数記憶手段に記憶されている遊技媒体数情報から特定される情報との整合性を判定する整合性判定手段とを備えた

ことを特徴とする遊技システム。

【請求項 3】

前記封入式遊技機は、

自機において遊技に供された打込遊技媒体数及び入賞に伴って遊技客に供給される賞遊技媒体数を特定可能な遊技情報を前記各台装置に対して通知する遊技情報通知手段をさらに備え、

前記各台装置の前記整合性判定手段は、

少なくとも前記封入式遊技機から通知された遊技情報が示す打込遊技媒体数及び賞遊技媒体数を用いて整合性の判定を行う

ことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の遊技システム。

【請求項 4】

前記整合性判定手段は前記封入式遊技機と前記各台装置との間の通信時間に関する情報、又は当該情報と前記封入式遊技機の遊技性能に関する情報に基づいて、整合性を判定することを特徴とする請求項 3 に記載の遊技システム。

【請求項 5】

遊技媒体の取り出しが制限される封入式遊技機と、前記封入式遊技機に併設され記録媒体の処理を行う各台装置とを通信可能に接続した遊技システムの不正検出方法であって、

前記封入式遊技機が、自機の遊技に供することができる遊技媒体の数を特定する遊技媒体数特定情報を遊技媒体数特定情報記憶部に格納する格納工程と、

所定の記録媒体返却操作を受け付けた場合に、前記遊技媒体数特定情報記憶部に記憶した遊技媒体数特定情報を前記各台装置に対して通知する遊技媒体数特定情報通知工程と、

前記各台装置が、前記封入式遊技機から遊技媒体数特定情報を受信した場合に、該遊技媒体数特定情報の整合性を判定する整合性判定工程と

を含んだことを特徴とする不正検知方法。

【請求項 6】

遊技媒体の取り出しが制限される封入式遊技機と、前記封入式遊技機に併設され記録媒体の処理を行う各台装置とを通信可能に接続した遊技システムの不正検知方法であって、

前記封入式遊技機が、自機の遊技に供することができる遊技媒体の数を特定する遊技媒体数特定情報を遊技媒体数特定情報記憶部に格納する格納工程と、

前記遊技媒体数特定情報記憶部に記憶した遊技媒体数特定情報により特定される遊技媒体数を示す遊技媒体数特定情報を所定の時間間隔で前記各台装置に定期的に通知する定期通知工程と、

前記各台装置が、前記封入式遊技機から通知された遊技媒体数情報を記憶する遊技媒体数情報記憶工程と、

前記定期通知工程による通知を受け付けた場合に、通知を受けた遊技媒体数情報から特定される情報と、既に前記遊技媒体数記憶工程により記憶されている遊技媒体数情報から特定される情報との整合性を判定する整合性判定工程と

を含んだことを特徴とする不正検知方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

上述した課題を解決し、目的を達成するため、本発明は、遊技媒体の取り出しが制限される封入式遊技機と、前記封入式遊技機に併設され記録媒体の処理を行う各台装置とを通信可能に接続した遊技システムであって、前記封入式遊技機は、自機の遊技に供することができる遊技媒体の数を特定する遊技媒体数特定情報を記憶する遊技媒体数特定情報記憶手段と、所定の記録媒体返却操作を受け付けた場合に、前記遊技媒体数特定情報記憶手段に記憶した遊技媒体数特定情報を前記各台装置に対して通知する遊技媒体数特定情報通知

手段とを備え、前記各台装置は、前記封入式遊技機から遊技媒体数特定情報を受信した場合に、該遊技媒体数特定情報の整合性を判定する整合性判定手段を備えたことを特徴とする。

また、本発明は、遊技媒体の取り出しが制限される封入式遊技機と、前記封入式遊技機に併設され記録媒体の処理を行う各台装置とを通信可能に接続した遊技システムであって、前記封入式遊技機は、自機の遊技に供することができる遊技媒体の数を特定する遊技媒体数特定情報を記憶する遊技媒体数特定情報記憶手段と、前記遊技媒体数特定情報記憶手段に記憶した遊技媒体数特定情報を所定の時間間隔で前記各台装置に定期的に通知する定期通知手段とを備え、前記各台装置は、前記封入式遊技機から通知された遊技媒体数情報を記憶する遊技媒体数記憶手段と、前記定期通知手段による遊技媒体数情報の通知を受け付けた場合に、通知を受けた遊技媒体数情報から特定される情報と、既に前記遊技媒体数記憶手段に記憶されている遊技媒体数情報から特定される情報との整合性を判定する整合性判定手段とを備えたことを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

また、本発明は、上記発明において、前記封入式遊技機は、自機において遊技に供された打込遊技媒体数及び入賞に伴って遊技客に供給される賞遊技媒体数を特定可能な遊技情報を前記各台装置に対して通知する遊技情報通知手段をさらに備え、前記各台装置の前記整合性判定手段は、少なくとも前記封入式遊技機から通知された遊技情報が示す打込遊技媒体数及び賞遊技媒体数を用いて整合性の判定を行うことを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

また、本発明は、上記発明において、前記整合性判定手段は前記封入式遊技機と前記各台装置との間の通信時間に関する情報、又は当該情報と前記封入式遊技機の遊技性能に関する情報に基づいて、整合性を判定することを特徴とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

また、本発明は、遊技媒体の取り出しが制限される封入式遊技機と、前記封入式遊技機に併設され記録媒体の処理を行う各台装置とを通信可能に接続した遊技システムの不正検出方法であって、前記封入式遊技機が、自機の遊技に供することができる遊技媒体の数を特定する遊技媒体数特定情報を遊技媒体数特定情報記憶部に格納する格納工程と、所定の記録媒体返却操作を受け付けた場合に、前記遊技媒体数特定情報記憶部に記憶した遊技媒体数特定情報を前記各台装置に対して通知する遊技媒体数特定情報通知工程と、前記各台

装置が、前記封入式遊技機から遊技媒体数特定情報を受信した場合に、該遊技媒体数特定情報の整合性を判定する整合性判定工程とを含んだことを特徴とする。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

また、本発明は、遊技媒体の取り出しが制限される封入式遊技機と、前記封入式遊技機に併設され記録媒体の処理を行う各台装置とを通信可能に接続した遊技システムの不正検知方法であって、前記封入式遊技機が、自機の遊技に供することができる遊技媒体の数を特定する遊技媒体数特定情報を遊技媒体数特定情報記憶部に格納する格納工程と、前記遊技媒体数特定情報記憶部に記憶した遊技媒体数特定情報により特定される遊技媒体数を示す遊技媒体数特定情報を所定の時間間隔で前記各台装置に定期的に通知する定期通知工程と、前記各台装置が、前記封入式遊技機から通知された遊技媒体数情報を記憶する遊技媒体数情報記憶工程と、前記定期通知工程による通知を受け付けた場合に、通知を受けた遊技媒体数情報から特定される情報と、既に前記遊技媒体数記憶工程により記憶されている遊技媒体数情報から特定される情報との整合性を判定する整合性判定工程とを含んだことを特徴とする。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

本発明によれば、封入式遊技機は、遊技媒体の数を特定する遊技媒体数特定情報を記憶し、所定の記録媒体返却操作を受け付けた場合に、遊技媒体数特定情報を各台装置に対して通知し、前記各台装置は、封入式遊技機から遊技媒体数特定情報を受信した場合に、該遊技媒体数特定情報の整合性を判定するよう構成したので、封入式遊技機内で管理された持玉数を電子的に増加させる不正や、封入式遊技機に成りすました機器から各台装置に対して偽の持玉数を通知する不正を効率良く検知することが可能となる。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

また、本発明によれば、封入式遊技機は、自機の遊技に供することができる遊技媒体の数を特定する遊技媒体数特定情報を記憶するとともに、記憶した遊技媒体数特定情報を所定の時間間隔で前記各台装置に定期的に通知し、各台装置は、封入式遊技機から通知された遊技媒体数情報を記憶するとともに、遊技媒体数情報の通知を受け付けた場合に、通知を受けた遊技媒体数情報から特定される情報と、既に記憶されている遊技媒体数情報から特定される情報との整合性を判定するよう構成したので、封入式遊技機内で管理された持玉数を電子的に増加させる不正や、封入式遊技機に成りすました機器から各台装置に対して偽の持玉数を通知する不正を効率良く検知することが可能となる。